

市営住宅の空き部屋「無駄に空けているんじゃないの？」

教えて！

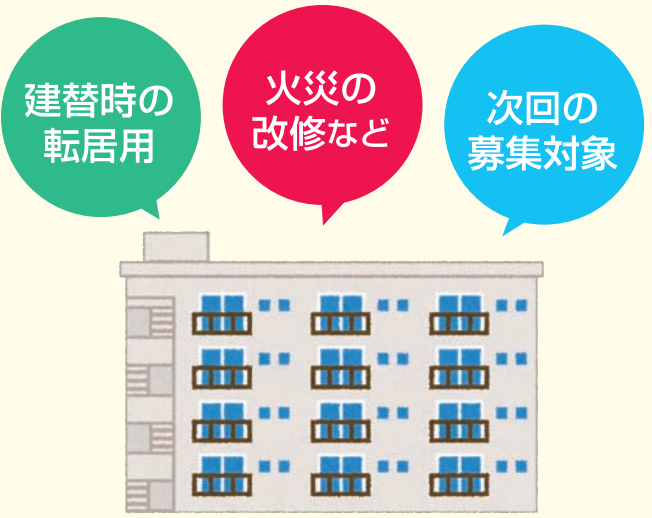
空家戸数は4,752。
無駄に空けている部屋は無し

「市営住宅で何年も空き部屋になっている部屋がある。入居したい人がたくさんいるのに無駄じゃないのか」というお問い合わせを頂きます。市営住宅を所管している、市役所の住宅都市局に話を聞きました。市営住宅の空家戸数は全部で4,752戸（平成25年3月31日現在）あり、その内訳は募集済み住戸が516戸、常時募集住戸が170戸、建替募集停止等住戸（建替えが予定さ


れている住宅の入居者に転居していただくために確保してある等）が3,017戸。その他に火災等募集停止住戸（火災が起こった部屋で改修と匂いが無くなるまでの間放置してある等）が429戸、次回募集対象住戸が620戸とのことでした。このように市営住宅で空家の状態のものの中で、無駄に空けてある部屋はないとの答えでした。市民には無駄に空けているように見えても、数年後の建替えのための確保や火災や事故等が原因で空けておかねばならない事情があることが改めて分かりました。

市営住宅空家戸数の内訳について		
区 分	戸 数	戸
空 家 戸 数	4,752	
募 集 済 み 住 戸	516	
常 時 募 集 住 戸	170	
建替募集停止等住戸	3,017	
火災等募集停止住戸	429	
次回募集対象住戸	620	

備考 平成25年3月31日現在



たなべ雄一 連絡先
〒464-0073
名古屋市千種区高見一丁目 14-1
電話：052-763-3797
FAX：052-763-3828

たなべ雄一 公式サイト！


<http://www.komei.or.jp/km/nagoya-tanabe-yuichi/>

ひとことメッセージ

今回の「まっすぐ通信」は私がお届けしました。
⇒ たなべ雄一（本人） ☐ 協力者（ ）



いつもお世話になります。



不育症、85%は出産可能。名古屋市立大学病院に不育症電話相談窓口。
☎豆柴ダイヤル(052)851-4874

相談可能曜日：時間
●火曜日：正午～15時
●金曜日：8時30分～11時30分
※祝日および年末年始（12/29～1/3）は除きます。
相談従事者：不育症の専門知識を有する
カウンセラー（臨床心理士、助産師）





くらしにまっすぐ！ 未来にまっすぐ！ 市政の情報・調査結果をお届けします！
千種区選出名古屋市会議員・公明党名古屋市長候補

たなべ雄一

ゆういち まっすぐ通信



発行日
2014年9月1日

6月定例会

空家対策推進補正予算 1,333万円余



「空家対策条例」
7月1日全部施行受け

まっすぐ通信50号で紹介した、議員提案による「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」が7月1日から全部施行されることを受け、市長は6月定例会に空家対策の推進のための補正予算として1,333万4千円を計上しました。これは条例に基づいて、特定空家等に認定された家屋等に対して周辺住民に危険がおよぶ恐れがある場合などに応急措置するための予算や、所有者が除却を行う場合の助成金（上限60万円で除却費用の2分の1を名古屋市が助成）などの予算です。議会は慎重に審査をし、これを含む全ての議案が賛成多数で可決されました。6月定例会に提案された補正予算は他に「国土強靱化地域計画の策定準備」のための予算（790万円）など総額4,564万8千円でした。※空家等に関するご相談は各区役所のまちづくり推進室までお問合せください。

一般会計補正予算の一例		
空家等対策の推進に関する条例の施行に伴い、空家等の適切な管理を推進するため、必要な指導や支援等を実施	応急措置	200万円
	除却費助成	600万円
	指導等事務	533万4千円

「特定空家等認定基準」が
公表されました！

市は「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」の第2条で定める特定空家等の認定基準を7月1日に公表しました。条例では、特定空家等に対して除却、修繕、立木の伐採等の措置の助言・指導、勧告、命令が可能とされています。

区 分	項 目
保 安 上 危 険	周辺に著しい保安上の危険を及ぼす恐れがある空家等で次に掲げる状態のいずれかに該当するもの。 ① 建物の全体又は一部が倒壊、崩壊している。 ② 建物の全体又は一部が大きく傾斜している。 ③ 屋根が崩落又は大きく変形している。 ④ 瓦など屋根材その他部材が多数落下している。 ⑤ 外壁が大きく破損、又は貫通する穴が生じている。 ⑥ 塀その他工作物等が倒壊又は大きく傾斜するなどしている。
衛 生 上 有 害	周辺に著しく衛生上有害な影響を及ぼす恐れがある空家等で次に掲げる状態のいずれかに該当するもの。 ① ごみ等の堆積その他により、悪臭等が発生している。 ② 害虫等が大量に発生し、敷地外に悪影響を及ぼしている。
景 観 支 障	周辺の景観を著しく損なっている空家等で次に掲げる状態のいずれかに該当するもの。 ① 立木、雑草等が敷地全体で繁茂している。 ② ごみ、物品等が大量に散乱又は堆積している。
その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態	防火、防犯、その他の面で周辺の生活環境の保全に悪影響を及ぼしている空家等で次に掲げる状態のいずれかに該当するもの。 ① 施設されていない等外部から不特定の者が容易に侵入できる。 ② 大量の可燃性のごみ、物品等又は可燃性の危険物品が放置されているなど火災発生の危険がある。 ③ 建物の一部又は立木その他が敷地外に著しくはみ出している。 ④ 上記以外で周辺の生活環境の保全に悪影響を及ぼしている。

※本基準は平成26年7月1日から適用する。

市民の皆様へ

この議員広報は名古屋市議会基本条例に定められた事項のうち、議員自らの議会活動を市民に分かりやすく説明することを目的としたものです（名古屋市議会基本条例第3条の②）。配布については何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

がんばろう日本！ 復興4年目。被災地 東北を忘れない。

全国不登校新聞社 FONTE (3月1日号)に たなべ雄一の寄稿が掲載されました!



いじめ防止法 (転載)

いじめ対策について、地方議員の立場から所見を述べたい。まず、国の「いじめ防止対策推進法」(以下、防止法)が議員立法として成立したことは地方議員として評価したい。それはいじめ問題とそれを背景とした自死について国会議員が真剣に向き合っていることの証左だからだ。いじめが緊急性の高い事案であることは論を待たない。議員立法でスピード感を持って成立させた意味は大きかったと言える。議員立法でなければあと何年遅れたかわからない。内容についてはさまざまな意見・異論はあるが、基本的施策や調査報告の義務などは大きな成果といえる。なによりも国を挙げて動き出したというのは紛れもない事実だ。

私は昨年11月定例会で市のいじめ対策について議会質問をした。防止法まかせではなく、現場でのきめ細やかな対応が必要だからだ。市議員として市民からいじめのご相談をいただくことは少なくない。質問はそれら市民からの相談を基にしている。

質問の主な内容は、①教師によるいじめ行為の防止、②いじめられている子の保護と支援、③関係諸機関との連携の3点。

1点目の質問は、防止法で教師によるいじめ行為について触れていないことに疑問を持ったからだ。教師によるいじめ行為は全国的に確認されており、私自身もご相談を受けた経験がある。ある意味で、教師によるいじめ行為は数段深刻だ。教育委員会などで懲戒処分取扱方針に教師によるいじめ行為などを明記する自治体が増えてきていることを踏まえて、名古屋市にも同様の対応を求めた。市教育長は教師によるいじめ行為などがある事実を認め、要望は聞き入れられた。

2点目の質問は、本紙との交流を通じて得られた視点だ。防止法の第9条(保護者の責務)では「保護者は、その保護する児童等がいじめを受けた場合には適切に当該児童等がいじめから保護するものとする」とある。具体的には、いじめの現場から緊急

避難させることであろう。たとえば、一時的な不登校は当事者にとって極めて現実的な選択だ。一方で、政府・行政としては義務教育の立場から不登校を勧められないことも事実だ。問題なのは、不登校による不利益への不安や学校への不信から保護者が子どもを保護せず、重篤な事態に陥る危険があることだ。教育長は「安心して登校できる環境づくりが第一」との立場は堅持しつつも「欠席せざるを得ない状況が続く場合には、被害児童生徒・保護者の心情に寄り添いながら支援を行なう」との考えを示した。不登校に対して一定の理解を示した答弁と考えている。

3点目は、いじめは、その実情に応じて関係諸機関と連携した対応をするべきとの提案だ。質問に際し、親交がある教育者から助言をいただいた。その方は、長年の教育現場での経験から「子どもの目と声で異変がわかる」と語ってくださった。また「多くの親は1人から2人の子育て経験しかなく子育てのプロではない。教師は毎年何十人もの子どもと家庭に関わるプロである。教師は敏感にいじめを察知する技量を持ってほしい。学校長はそれが発揮できるマネジメントに努めなければならない」と含蓄のある話をしてくださった。また、「いじめる側の子どもや家庭も支援を必要としている場合がある」という子どもへの愛情あふれる言葉も忘れられない。貧困、家庭内暴力、虐待など、家族だけでは乗り越えられない問題を抱えているケースもある。子どもと家庭を総合的に支援する体制づくりや施設の設置が望まれる所以だ。

学校のなかで発生するいじめ事案だけを見ている、いじめの根本的な解決にはならない。幸せな家庭と良好な親子関係を築くことがなによりも重要である。行政と議員は現場の声に耳を澄まし、きめ細やかで温かい施策を心がけなければならない。

名古屋市議員・たなべ雄一



市民の声をくらしに活かす! 市民と議員の共働

JR 中央線千種駅の立体交差橋・ 車道と歩道間に防護柵を設置しました!

千種区と東区の境に位置する JR 千種駅。中央線の線路上の錦通の立体交差橋は交通量が多く、歩道幅が狭いため、歩道で歩行者や自転車がすれ違う時などに車道に転落しそうになって危険、とのご相談を約3年前に頂きました。以来ねばり強く土木事務所と防護柵の設置に向けて相談・検討を重ね、本年3月に設置工事が完了しました。防護柵の延長は約210m(両側の歩道に設置)。歩行者が安心して通行できるようになりました。



出会い頭の事故防止のための 注意喚起表示

千種区香流橋1丁目・2丁目境界(香流橋公園前) T字路。「自動車と歩行者・自転車が出会い頭の事故を起こしやすいので何とかして欲しい」とのご相談がありました。「一時停止規制をかけてほしい」「カーブミラーを設置してほしい」とのお声もありましたが、交通規制は近隣住民全ての同意を住民が取る必要があります。カーブミラーは自動車を視認するためのものであるため、歩行者や自転車は視認性が悪く、かえって事故を誘発する恐れがあります。土木事務所と検討を重ねた末に T 字路であることを示す道路表示と歩道に歩行者が一旦停止をして安全確認することを促す足あとの表示を施すことになりました。交通事故はドライバーと歩行者が確実な安全確認をすることで、かなりの確率で防ぐことができます。



狭隘道路の標識を設置

千種区振甫町4丁目、池内猪高線と交差する道路。「自宅前の道路は奥に行くほど道幅が狭くなっていて軽自動車を通るので精一杯。知らずに進入してくる自動車がバックで引き返してくるので危なくて困っている」とのご相談を頂きました。土木事務所と相談したところ、町内のご意見を集約していただければ標識の設置が可能とのこと。すぐに相談者に報告し町内の合意を頂き標識を設置することができました。(H26年5月設置)



お住まいの地域の道路・標識などでお困りのことがありましたら、
たなべ雄一までお気軽にご相談ください。